

# 大自然が育んだ信濃川のカタチ

## 信濃川のかたち・古代編

いにしえにおける信濃川の成り立ちを信濃川源流から河口までの範囲で紹介しします。

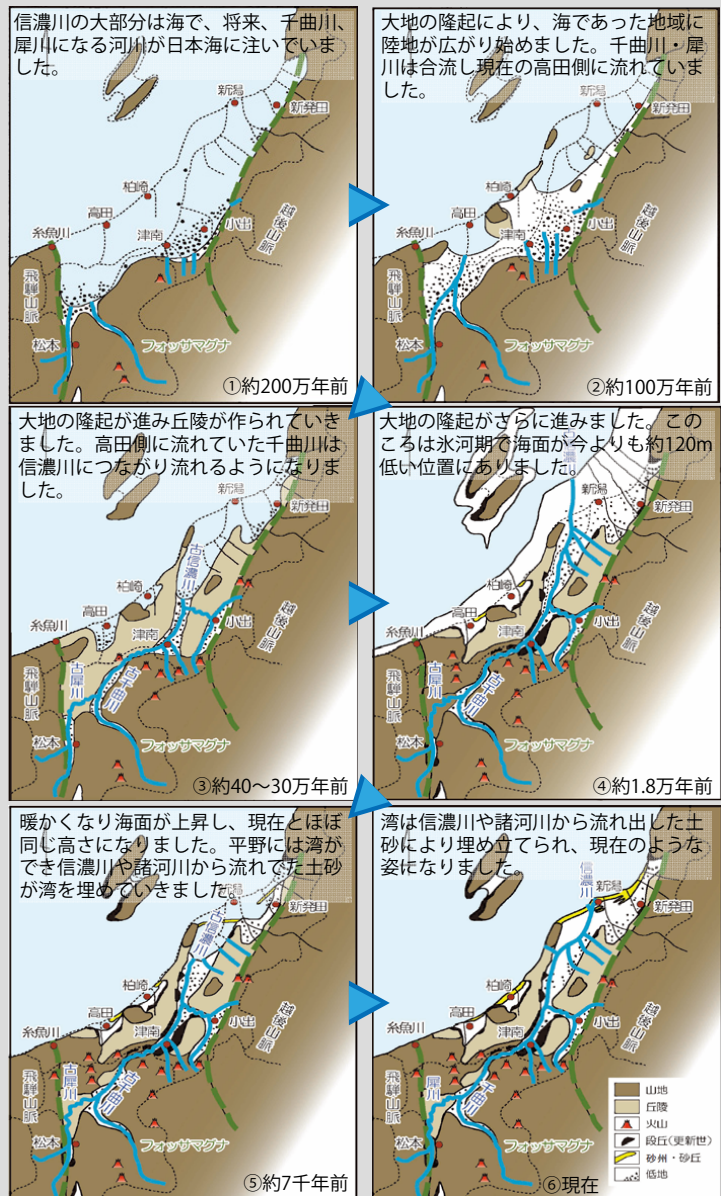
### 信濃川とは？

信濃川の源流は、長野（信州）・山梨（甲州）・埼玉（武州）にまたがる旧国名の頭文字を集めた甲武信ヶ岳から発して、新潟市の日本海に至る全長367kmの日本一長い河川です。長野県では千曲川と呼ばれています。



### 信濃川の成り立ち

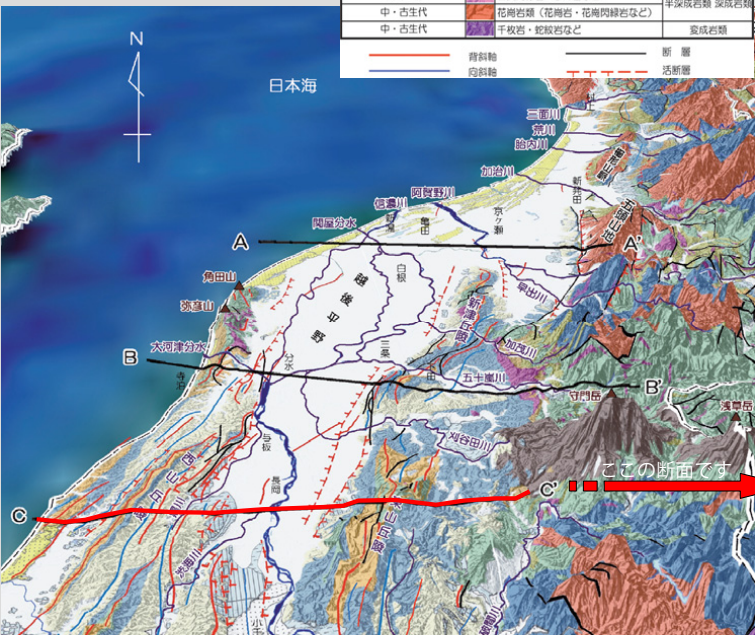
日本列島は、約300万年前から隆起を始め、約200万年前から現在見られる山地・丘陵・低地の原型が作られました。信濃川の始まりはこの頃と考えられます。



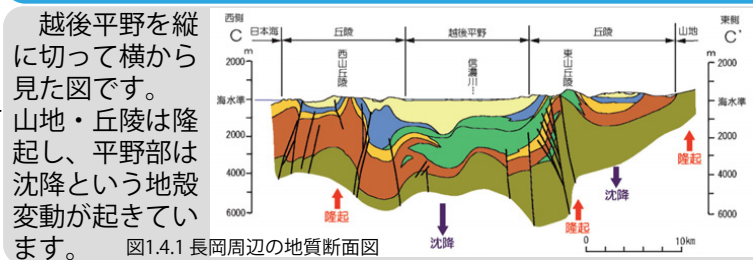
### 越後平野の地質（地層）

古い時代の岩石は平野の地下にもぐり込んでいます。そして、その上に約2000万年前からの土砂が厚く堆積しています。

地質鳥瞰図 凡例				
地質時代	色	地層名(性状)	岩石の分類	
第四紀	更新世	沖積層(礫・砂・泥)	未固結堆積物	
	更新世	沖積段丘堆積層(礫・砂)		
		低位段丘堆積層(礫・砂)		
新第三紀～第四紀	中新世～更新世	中位段丘堆積層(礫・砂)	堆積岩類	
	中新世～更新世	高位段丘堆積層(礫・砂)		
新第三紀	中新世	灰川層(砂岩・泥岩など)	火砕岩 火砕岩類	
		魚沼層(礫岩・砂岩・泥岩など)		
	中新世～更新世	西山層(泥岩・砂岩など)		貫入岩類
		榑谷層(砂岩・泥岩など)		
	中新世	寺尾層(泥岩・砂岩など)		半深成岩類 深成岩類
		七谷層(泥岩など)		
	中・古生代	津川層(砂岩・泥岩など)		変成岩類
		中・古生層(泥岩・砂岩など)		
	第四紀	溶岩・火山噴出物など		火砕岩 火砕岩類
		溶岩・火砕岩など		
新第三紀	溶岩・火砕岩など	貫入岩類		
	溶岩・火砕岩など			
新第三紀、第四紀	流紋岩・安山岩類など	貫入岩類		
	石炭質緑石・ひん岩など			
中・古生代	花崗岩類(花崗岩・花崗閃緑岩など)	半深成岩類 深成岩類		
	千枚岩・蛇紋岩など			



### 越後平野の断面図



出典：国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所,2007,信濃川・越後平野の地形と地質